

# 中学国語



中・高等部 国語科 廣川眞子

九月二十四日

↓今日の授業（一時間のみ）

―説得力のある構成を考えよう（二分間スピーチ）の発表

―p74「俳句を味わう」の振り返りと創作に向けて

↓宿題

☆24日は全員、「授業ノート」、「ワークブック」、「あかねご漢字スキル」、「つまずかない文法の教室」を持ってきてください。点検します。

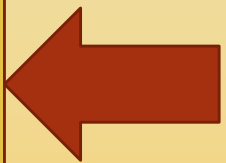
# 一年間の学習

↓  
話すこと・聞くこと

↓  
書くこと

↓  
読むこと

↓  
知識・技能（文法、漢字、言語文化）



思考する  
判断する  
表現する

これからの社  
会を生きるた  
めに、しっか  
りとした土台  
を作ろう！



# 単元（十月一日）終わり の目標

## 創作俳句

俳句を作ってみんなで交流しよう。

10月1日 公開授業を行います！  
先生たちが見学に来ます。



短冊に書  
きます！

俳句創作学習のルール

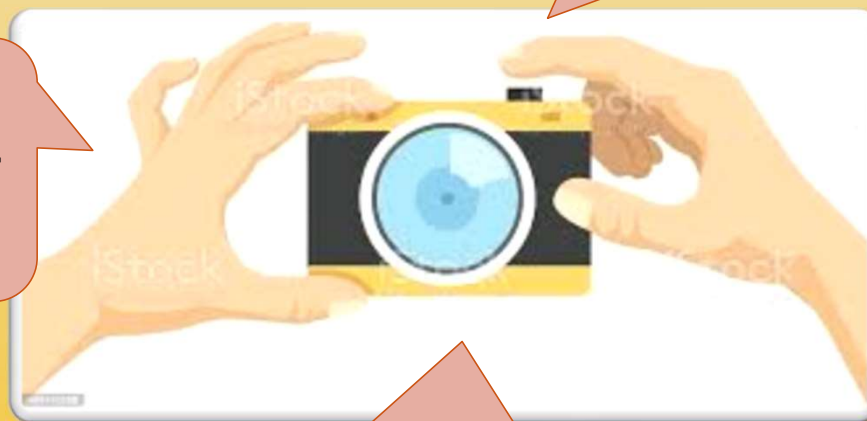
ひとりひとりが季節感や思いを言葉  
で伝えよう（季語）

クラスメートと言葉を選ぶ、工夫す  
るプロセスを高めあおう

気に入った俳句を伝え合おう

↓この三つのポイントを使って伝えよう。

①「～のような内容の俳句だ」



②俳句の中に～という表現があるが、これは——を表している

③しめくくり！  
自分の感想。「—がいい、好きだ」

# 俳句創作のステップ①

ワークブック

p44 季語と出会う

■季語を集めた「歳時記」(さいじき)を開いて、たくさんの季語と出会ってみよう。



# 俳句の季節は、 ずれている！ 太陽暦とは

俳句の季節は、「旧暦（太陰暦、陰暦）」で考えられています。

旧暦とは、新月の日を1日とし、満月の日を15日として数えるものを言います。

明治時代以前は旧暦を用いていましたが、明治5年（1872年）に、太陽の動きを元に作られた新暦「（太陽暦、グレゴリオ暦）」に改暦され、現在に至っています。

旧暦の春夏秋冬の大まかな分かれ方は、以下のように立春は1月、立夏は4月、立秋は7月、立冬は10月になります。

## 【旧暦】

- 春：1～3月
- 夏：4～6月
- 秋：7月～9月
- 冬：10～12月

## 俳句創作のステップ②

「俳句の可能性」の文章の作者からのメッセージを思い返そう

「私たちの身近なものばかり」  
「目を留めたものに『こんにちは。』という挨拶の気持ち」  
「気に入った風景をカメラで撮るような感覚」





「気に入った風景をカメラ  
で撮るような感覚」



目を留めたものに『こんにちは。』という挨拶の気持ち

♪ かえるのうた ♪

かえるのうたが  
きこえてくるよ

クワッ クワッ クワッ クワッ  
ケ ケ ケ ケ ケ ケ ケ ケ  
クワッ クワッ クワッ



2012/6/20 9:02

